

船舶事故調査報告書

令和5年3月8日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 佐藤 雄二（部会長）
委員 田村 兼吉
委員 岡本 満喜子

事故種類	沈没
発生日時	令和4年1月6日 09時50分ごろ
発生場所	高知県宿毛市沖の島南東方沖 土佐沖ノ島灯台から真方位135° 3.2海里（M）付近 （概位 北緯32° 40.0′ 東経132° 35.3′）
事故の概要	漁船第八友栄丸は、航行中、機関室に浸水して沈没した。
事故調査の経過	令和4年1月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第八友栄丸、19トン K02-2523（漁船登録番号）、株式会社友栄 17.50m（Lr）×3.68m×1.50m、FRP ディーゼル機関、736kW、平成5年1月30日、4サイクル、 回転数毎分1,350、6気筒、ボア170mm、使用燃料A重油、 機関製造年不詳 第282-16258号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	船長 41歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成13年5月24日 免許証交付日 令和3年1月13日 （令和8年5月23日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	沈没（全損）
気象・海象	気象：天気 雨、風向 東北東、風力 2、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の初期
事故の経過	本船は、船長ほか甲板員1人（インドネシア共和国籍）が乗り組み、令和4年1月5日09時50分ごろ、回航の目的で、鹿児島県鹿児島市桜島港に向けて高知県黒潮町上川口港を出航した。 船長は、航行中、13時00分ごろ沖の島南東方沖6.0M付近で船体が右に傾きつつあることに気付き、機関室を確認したところ、プロペラシャフトの上部まで浸水していたので、ビルジポンプを作動しようとしたが、既にビルジポンプのモーター一部が水没していて作動さ

	<p>せることができなかった。</p> <p>船長は、船尾にあった小型の可搬式電動ポンプで排水を始めたが、間もなく主機もディーゼル発電機も水没して電源を失い、可搬式電動ポンプも動かなくなった。</p> <p>船長は、浸水の状況から機関室で作業をすることは危険だと思い、船底弁及び船外弁の閉弁操作は行わず、14時00分ごろ、携帯電話で海上保安庁に救助を要請した。</p> <p>船長及び甲板員は、14時45分ごろ、海上保安庁から救助要請を受けて来援した瀬渡船に乗り移った。</p> <p>本船は、来援した巡視艇によりえい航され、21時00分ごろに高知県土佐清水市叶^{かなえ}崎沖までたどり着いたが、浸水が進み、以後のえい航は危険と判断され、えい航索が解放された。</p> <p>船長及び甲板員は、6日09時50分ごろ本船の沈没を確認して、上川口港に向けて帰航を開始した。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図、写真1 本船全景 参照)</p>
その他の事項	<p>本船は、機関室にビルジ高位警報装置（以下「本件警報装置」という。）が備え付けられていたが、本事故発生前に鳴動しなかった。</p> <p>船長は、出航前、本件警報装置について、テストスイッチによる鳴動テストを行い、鳴動することを確認していたが、実際に水を用いたテストは行っていなかった。</p> <p>船長及び甲板員は、航行中、機関室の見回りを約1時間ごとに交替で行っていたが、浸水等の異常はなかった。</p> <p>船長及び甲板員は、固型チョッキ式の救命胴衣を着用していた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>なし</p> <p>本船は、沖の島南東方沖を航行中、機関室に浸水したことにより沈没したものと考えられる。</p> <p>本船の機関室に浸水した状況は、本船が沈没したため、明らかにすることができなかった。</p> <p>本船の本件警報装置が本事故発生前に鳴動しなかったことは、本件警報装置センサー部の不良により、ビルジ水位を感知しなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、沖の島南東方沖を航行中、機関室に浸水したことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船舶所有者及び船長は、機関室のビルジ高位警報装置について、定期的にセンサー部を含め鳴動確認を行うこと。

付図1 事故発生場所概略図

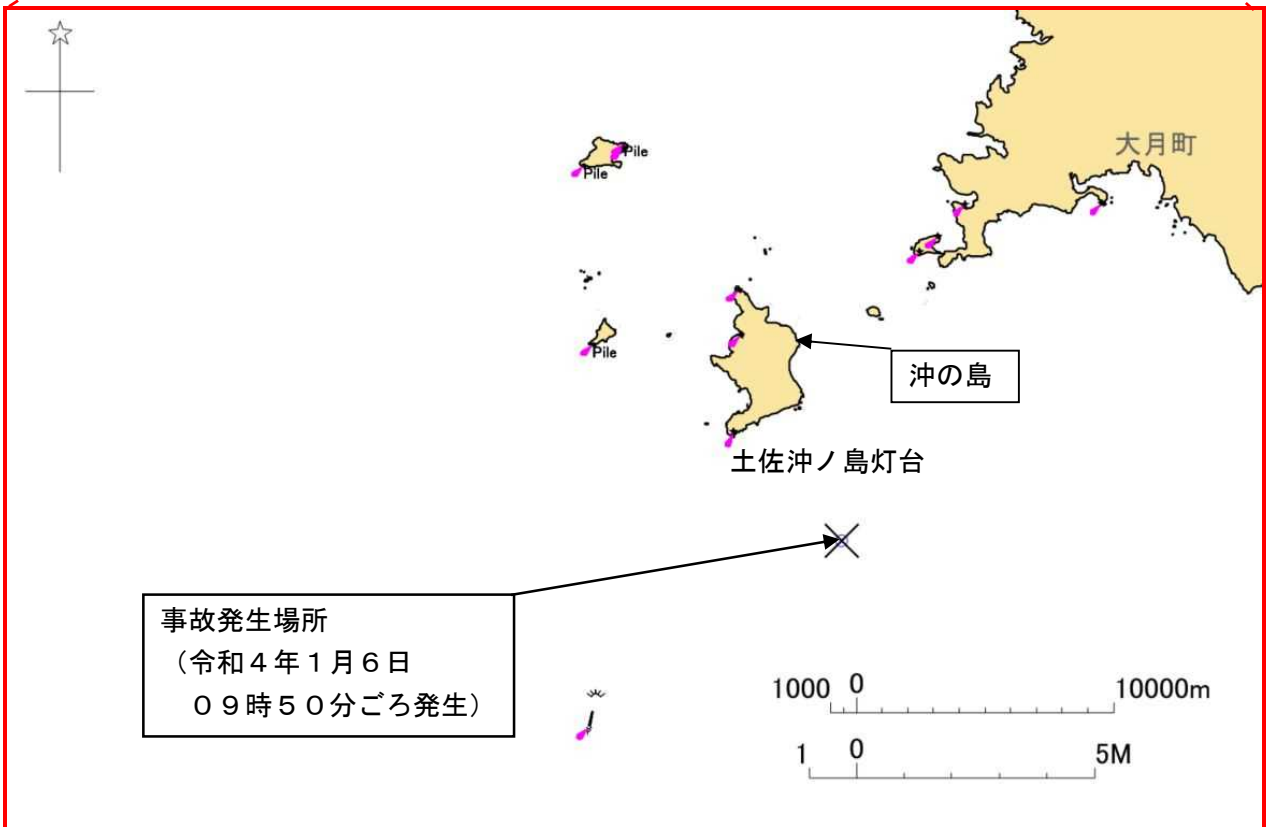
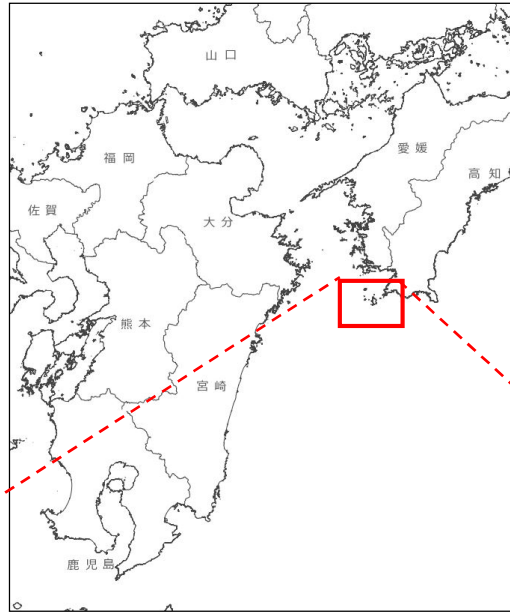


写真1 本船全景

